

令和2年第4回大衡村議会定例会一般質問通告書一覧表

通告順位 1番	氏名 佐野 英俊	質問形式： 一問一答
1. 件名 コロナ禍の人権擁護のための条例化を		
要旨		
<p>新型コロナウイルス感染者が日々確認され、過去最多の更新が毎日報じられており収束の兆しが見えない。感染患者やその家族、職場同僚や学校の児童生徒、さらに医療従事者などへの誹謗中傷や不当な差別を受ける事案も発生している。</p> <p>感染の可能性はだれにでもあることから、感染患者や家族などの人権侵害を防ぐことを目的とする条例を制定する考えはないか。</p>		
2. 件名 通園通学バスを抗ウイルス仕様に		
要旨		
<p>子どもたちを新型コロナやインフルエンザなどのウイルス感染から守るため、子どもたちが通園通学に利用するバス車内を、抗菌・抗ウイルス剤にてコーティングし、感染防止対策を強化する考えはないか。</p>		

通告順位 2番	氏名 石川 敏	質問形式： 一問一答
1. 件名 令和3年度予算編成方針は		
要旨		
<p>新型コロナウイルスへの対策には国をあげて取り組んでいるが、いまだ感染は収束せず国民の日常生活や経済活動に大きな影響が出ている現状である。</p> <p>このことにより、来年度は国税の大幅な落ち込みも懸念される状況になると思われるが、本村における財政への影響や、来年度予算編成の見通しについて問う。</p>		
① 村税等自主財源や地方交付税、国庫補助金等の歳入の見込みは。		
② 継続事業や重点施策への取り組みは。		
③ 萩原村政2期目の折り返し点を迎えるが、目指す村づくり、予算編成の方針は。		
2. 件名 コロナ禍における村事業の今後の取り組みは		
要旨		
<p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、村でも各種の行事等をほぼ全て中止としたが、今後の事業の取り組みはどのように考えているか。</p>		
① 中止した事業や行事の内容と予算削減額は。		
② 行事の中止が住民に及ぼした影響をどのようにとらえているか。		
③ 来年度事業実施にあたって具体的な感染予防対策は。		
④ コロナ禍に対応した庁内の人員体制は。		

令和2年第4回大衡村議会定例会一般質問通告書一覧表

通告順位 3番	氏名 赤間 しづ江	質問形式： 一問一答
1. 件名 シルバー人材センター設立の準備状況は		
要旨		
令和3年4月の業務開始まで4カ月、シルバー人材センター設立に向けた準備状況について質問する。		
① 設立準備委員会委員8名が、法人役員（理事）になるとの説明である。各機関の代表、団体の代表だけでなく、会員代表等も、メンバーに入れるべきではないか。		
② 3回開催された入会説明会が終了した時点での会員申込人数は。		
③ 1月に行なわれる予定の職員採用、人数は何人か。また、給料等処遇をどう考えているか。		
④ シルバー人材センター初年度予算として、県補助金100万円を含む総予算2,500万円が見込まれている。主な支出項目と金額は。		
⑤ 事務所設置に当たり、必要な備品等項目と、その費用はどの位になるのか。		

通告順位 4番	氏名 小川 克也	質問形式： 一問一答
1. 件名 移住・定住対策について		
要旨		
本村では、平成7年に人口が6,000人を超えたものの、その後減少が続き、平成22年には約5,300人まで落ち込んだ。しかし、村内の住宅地開発により、令和元年に6,000人まで回復した。一方で年少人口や生産人口割合は減少傾向にあり、老年人口割合は増加傾向にある。高齢化に伴い、今後、医療、年金、介護といった社会保障費が増大するほか、生産年齢人口の減少により、働き手や税収の減少など地域社会に大きな影響を及ぼすことが懸念される。		
今後の人口動向を十分に見据えた対応が必要と考えるが、次の点について問う。		
① 10年後の人口及び世帯数の予測と目標人口は。		
② 村営住宅・定住促進住宅の入居者数、空き状況、公募方法は。		
③ 若者定住促進補助金・三世代同居促進補助金の申請件数と今後の課題は。		
④ 移住・定住及び結婚支援に関する相談、情報提供等の取り組みとしてどのようなことを実施しているか。		
⑤ 国の結婚新生活支援事業を活用し新婚世帯を支援する考えはないか。		

令和2年第4回大衡村議会定例会一般質問通告書一覧表

通告順位 5番	氏名 遠藤 昌一	質問形式：一括質問
1. 件名 <u>高齢者等へのごみ収集支援に対する検討結果は</u>		
要旨		
平成29年第4回定例会において、高齢者、要介護者へのごみ収集支援について一般質問を行っているが、その後どのような検討が行われ、今後どのように進めていくのか。		

通告順位 6番	氏名 高橋 浩之	質問形式：一問一答
1. 件名 <u>大衡村の今後の農業振興策は</u>		
要旨		
大衡村の、これからの農業振興策について、次の二つの観点から村長の考えを伺う。		
1 現在、大衡村には自信を持って推薦できる特産品が無い。過去にはチャツネや、甘酒があったがすでに無く、カリントウや万葉美人も純粋な大衡産とも言えない。議員からも新たな特産品としてキキョウの根や、ヤマユリ等のアイデアを出しているし、村長自らもアスパラガス生産を推奨している。しかし前回の私の一般質問の答弁の中で、そのアスパラ栽培が頓挫しそうだと言っており、さらにはその支援策の再考までも言及していた。		
そこで改めて村として、アスパラガスの栽培がうまく出来ない問題点を調査しているのか、そしてその対応策は取っているのか伺う。また特産品としてのブランドを得るためには、長い時間が掛かるものであり、一回や二回の失敗に挫けない、農業振興の施策を進めていく考えは無いのか伺う。		
2 新型コロナウイルス蔓延によって、全ての事柄において甚大な影響が出ている。大衡村の基幹産業である稲作においても例外ではなく、外食産業等の不振による米余りによって概算金・買取価格が下がり、令和2年宮城県産ひとめぼれにおいても、700円下げの12,600円となるようである。		
これまでもコロナ対策の国の施策とは別に、大衡村では独自の施策として地域産業継続支援金や農産物出荷促進支援金、畜産経営継続緊急支援金が施行された。その中に地方創生臨時交付金が、充当されているのは理解するが、大衡村農業の根幹である水稻に支援策が無いのが大変不思議である。		
以前大衡村では平成26年度において、米価下落対策臨時交付金が支給されており、補正予算として1,860万円を計上し、60kg当たり400円を給付した実績がある。当時の状況と比較すると現在の方が、緊急性や逼迫度は高いと考える。また令和3年の水稻作付け可能面積も、米の在庫過剰によって数パーセント減少するとのマスコミの報道もある。		
そこで村独自の稲作農家支援として、出荷米に対する価格補てんや手数料の支援を行う考えは無いのか。また実施しないのであれば、村長の推進する農業振興策とは何か、改めて伺う。		

令和2年第4回大衡村議会定例会一般質問通告書一覧表

通告順位 7番	氏名 文屋 裕男	質問形式： 一問一答
1. 件名 ため池の防災は万全か		
要旨		
大森地区 樋の口堤1号の余水吐は、他のため池に比較して小さいのではないか。 異常気象の中でたびたび起きる豪雨に耐えられるか伺う。		
2. 件名 (株)万葉まちづくりセンターの社長の報酬は適正か		
要旨		
歴代の万葉まちづくりセンターの社長の報酬は、村長あるいは副村長が現場の時は 無報酬と聞いているが、現在の副村長はガソリン代と証して月6万円の報酬と聞く。 果たしてそれが適正なのか伺う。		